

3年社会科 学習指導案 授業者 木村真冬

1 単元の概要

単元名 公民的分野「私たちが生きる現代社会と文化の特色」

授業の概要：さまざま現代社会の課題の事例を取り上げ、その背景や解決策を検討することを通して、異なる価値観の対立があることをとらえ、人権学習への導入とする。

	目標	評価規準	評価資料
知識 ・技能	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られ、ジェンダーギャップ等が課題になっていることを理解している。	身近な社会にみられる少子高齢化やジェンダーギャップ、グローバル化などの課題について、資料をもとに理解し、基礎的な知識を身に付けている。	ワークシート
思考 ・判断 ・表現	位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し表現する。	身近な社会にみられる課題の背景や対立する理由について、歴史的な変化や地域的な特色などから捉え、自分達の生活に対する影響について多面的・多角的に考察し表現している。	ワークシート 話合いの様子
主体的に 学習に取り組む態度	私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わり参画しようとする。	様々な問題に関心を持ち、他者の意見を尊重しながら、解決方法を自分なりに考え、主体的に関わろうとしている。	毎時間のふりかえり

2 単元の展開

単元の流れ（全5時間）

1	グローバル化や少子高齢化が進む現代社会の特色について理解する。
2	身近な社会にみられる「これはあってよいことか」と思われる課題の事例をみて、関心のある出来事を取り上げる。関連する資料を調査し、問題の背景や様々な意見があることをとらえる。 例 女性専用車あるが男性専用車はない 理科系大学入試の女性枠導入の導入 外国人児童生徒の学習保障が不十分 外国人が住居を借りることが難しい など
3	各グループから、担当したテーマの問題の所在や賛否に関する意見をプレゼンする。
4	問題としてとりあげた事例の解決策を検討する。人権の尊重に関する学習へとつなげる。
5	

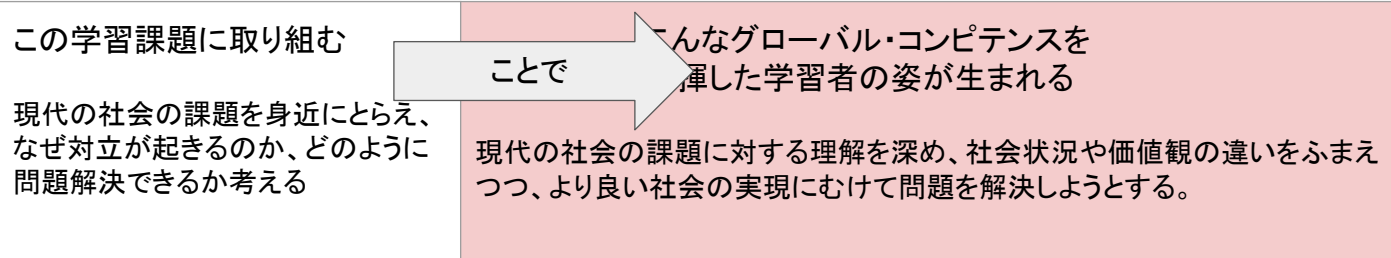
本時（4/5時）の流れ

本時の目標

現代社会の課題について討論することを通して、多様な価値観による対立があることを理解し、調整をしながら解決策を考えようとする。

1. 前時までの話合いをふりかえり、アファーマティブアクション等の考え方を確認する（5分）
2. 担当グループから賛成・反対に関する主張を述べる。（10分）
3. 解決策を小グループで検討する。（10分）
4. 解決策を発表する。（10分）
5. 既習の「公正」「効率」など現代社会の見方・考え方の観点から、解決策を相互評価する。（10分）
6. 他国の状況について知り、日本の状況と比較し、相対化をはかる。（5分）
7. ふりかえりを書く。（5分）

本授業で育てたいグローバル・コンピテンス



焦点化して育みたいグローバル・コンピテンス

定義	【グローバルな問題の発見・検討】 地域、世界、異文化間の問題を検討し、 【異文化・他者理解】 他者の視点と世界観を理解し認め、 【異文化間交流】 異なる文化を持つ人々とオープンで適切で効果的な関わりを持ち 【企画・行動】 共同体の幸福（ウェルビーイング）と持続可能な開発のために行動する能力			
要素	知識	スキル	態度	価値観
	グローバルな問題や、異文化理解に関する知識。 1. 地理的知識 2. 歴史的知識 3. 社会・文化的知識 4. 経済的知識	異文化間コミュニケーションや、グローバルな問題の解決、批判的思考などのスキル 1. 異文化間コミュニケーションスキル 2. 問題解決スキル 3. 批判的思考スキル	異文化、他者への理解と尊重を深める積極的な態度 1. 開放的で柔軟な態度 2. 他者を尊重する態度 3. 社会的・環境的責任を果たす責任感	異なる文化を持つ人々との協力と対話を促進する価値観 1. 公平性と公正性 2. 持続可能性 3. 平和（対話・協力・共存）